



木の郷ぎふの家 御嵩建築
の住まい創り新聞

Vol.46

今回のテーマ
現場レポート
太陽光発電全量買取と余剰買取



雨楽な家 笑家族SK-28
リビング

現場レポート

◎可児市 M様新築工事

- ・M様ご家族が、永きに渡り住まわれたお住いが解体されて行きます。感慨深いものがあります。「ありがとうございました。」一生懸命にM様ご家族の住まい創りをします。
- ・丁張り。糸を張って建物の通り芯を出す作業です。防湿シート敷き・捨てコンクリート打ち。基礎の下に打つ無筋コンクリートの事です。基礎立ち上がり部分のコンクリート打設。
- ・台風接近のため上棟が延期になってしまいました。

◎御嵩町 木と漆喰のモデルハウス

- ・7月26日(土)・27日(日)構造見学会開催します。

◎各務原市 O様邸新築工事

- ・完成しました。お引渡しとなりました。「ありがとうございました。」



太陽光発電「全量買取」と「余剰買取」

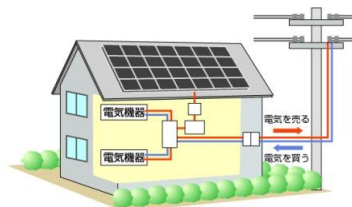
太陽光発電の売電は「全量」と「余剰」の2種類があります。

全量買取制は、自分で消費した電力とは無関係に、太陽光発電したすべての電力を売電できるという方式です。このとき、自分で消費する電気については、通常どおり電力会社から必要な電気を買います(買電します)。ただし、この全量買取制が適用されるのは、設置するソーラー・パネルの総出力が10kW以上のものだけです。

余剰買取制度は、太陽光発電した電気を、まずは家庭内で消費し、それで余った電気(余剰電力)がある場合には、これを電力会社に売電できるようになっています。この方式では、太陽光発電していても、電気の自家消費量が多く、余剰がないときには売電できません(余剰電力を増やすには、消費分の節約が必要です)。

全量買取と余剰買取では「期間」と「単価」に違いがあります。

買取種類	設置kw	買取期間	買取(売電)単価
余剰買取	10kw未満	10年間	1kwあたり37円
全量買取	10kw以上	20年間	32円+税



※太陽光発電を10kw以上設置しても、「余剰買取」が選択できます。

御嵩建築太陽光発電所 売電及び金額

2012年に4.14k(余剰買取)2013年に10.01k(全量買取)を取付けました。

2014年1月～6月までの売電量と売電価格は下記のとおりです。

御嵩モデルにも10k以上の太陽光発電を取り付ける予定です。

太陽光発電をご検討の皆様の参考になれば幸いです。

(株)御嵩建築太陽光発電所 売電量及び売電金額

月	全量買取(10.08k搭載 1kwh/38円)		余剰買取(4.14k搭載 1kwh/42円)	
	売電量/kwh	売電金額/円	売電量/kwh	売電金額/円
1月(12/18～1/21)	745	28,161	206	8,652
2月(1/22～2/19)	760	28,728	259	10,878
3月(2/20～3/18)	927	35,040	304	12,768
4月(3/19～4/16)	1,265	47,817	452	18,228
5月(4/17～5/20)	1,532	59,564	530	22,260
6月(5/21～6/17)	1,312	51,010	435	18,270
合計	6,541	¥250,320	2,186	¥91,056

平成26年(1月～6月) 総売電量 8,727kwh 総売電金額 341,376円

Topics

「御嵩モデル」構造見学会 ～環境にも家計にも配慮し、収益を生む住まい～

日時 7月26日(土)・27日(日) 10:00～17:00

場所 可児郡御嵩町顔戸800-1 (御嵩建築社屋前)

完成したら隠れてしまう部分を実際に自分の目で確認することができます。

皆様のご来場をお待ちしております。

6月28日・29日に開催いたしました『木の家完成見学会』にお越し

くださいました皆様、誠にありがとうございました！！



